いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和８年１１月２４日

都城志布志道路が飼料運搬路として貢献

～肉用牛産出額1．5倍に！！～

～「都城志布志道路」（延長44.2㎞）全線開通後の交通状況及び整備効果について～

令和7年3月23日（日）に**「都城志布志道路」が全線開通**しました。

開通後の交通状況や、既供用区間を含めた開通効果(道路ネットワーク・物流・　観光など)をお知らせします。

■開通による整備効果

【交通状況・事故の変化】

・事故件数が**約8～9割減少**

【交通拠点の結節による地域経済の発展】

・都城市・志布志市の**工業団地が完売し、**製造品出荷額が**1．6倍へ増加**

【農林水産関連物流の効率化】

・志布志港から都城地区、曽於地区への飼料出荷量が**約1．6倍へ増加**
・開通後16年間における志布志港の**木材輸出量・額が約70倍**

【周遊性向上による観光の活性化】

・周辺道の駅では来訪者数が**最大2．5倍へ増加**

【新たな居住地域が開発】

・IC付近の人口が**最大1．3倍へ増加**

【教育・人材育成拠点へのアクセス向上】

・IC近接地に**特別支援学校の整備が進む**

※詳細は別紙に記載

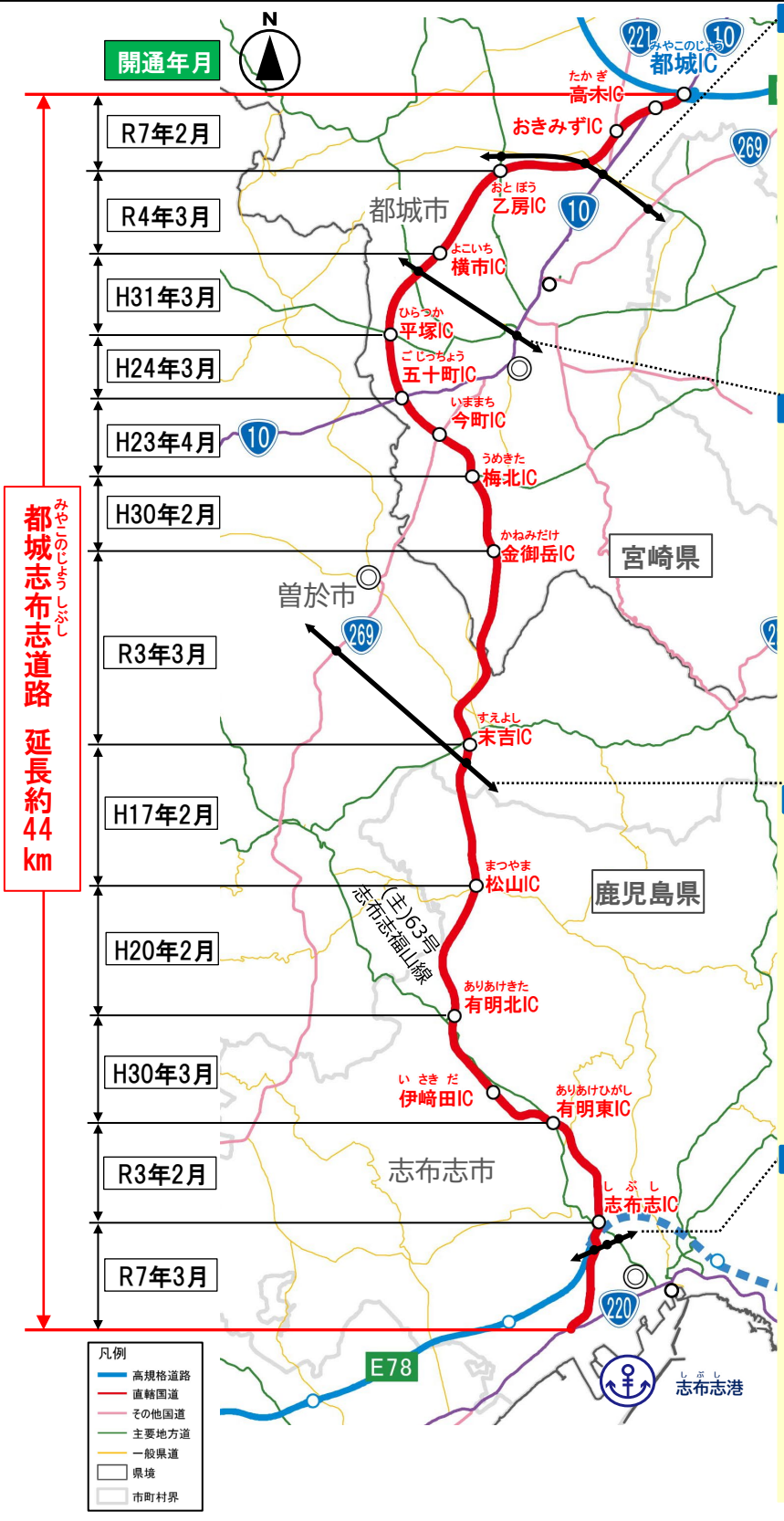
問い合わせ先			
国土交通省　九州地方整備局 宮崎河川国道事務所	0985－24－8221	技術副所長 計画課長	弓場　進 池田　幸司
宮崎県　　道路建設課	0985－26－7180	課長補佐	児玉　好史
鹿児島県　道路建設課	099－286－3533	技術補佐	武井　康文

国土交通省　宮崎県　鹿児島県　都城市　曽於市（そおし）soo city　志布志市 Shibushi City

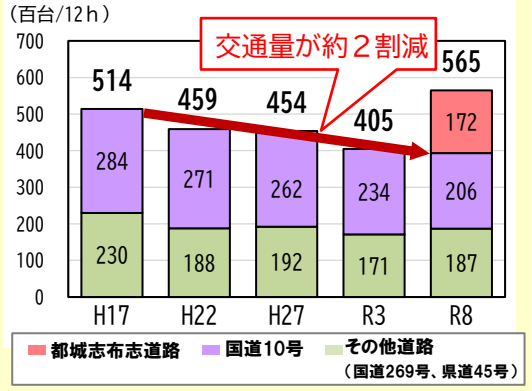
交通状況の変化

■都城志布志道路の全線開通により並行路線の交通量が約2～3割減少し、都城志布志道路へ転換。
■末吉IC～松山IC間の断面交通量は平成17年より約1．4倍に増加。

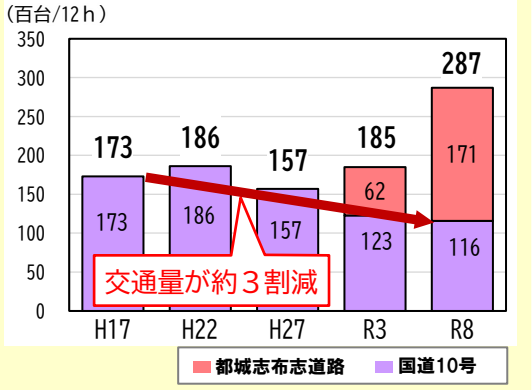
交通状況の変化



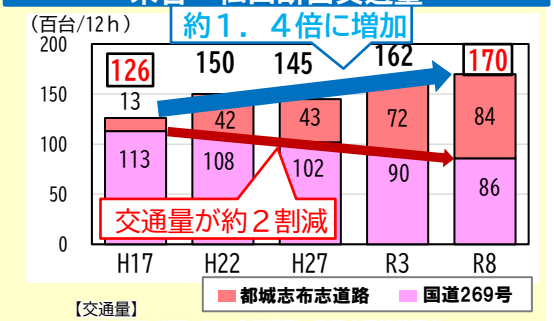
都城市街地北部断面交通量



都城市街地南部断面交通量

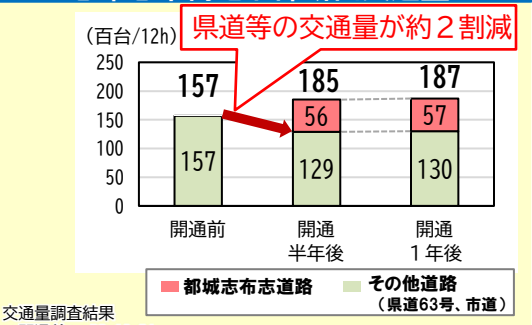


末吉～松山断面交通量



【交通量】
H17・H22・H27・R3：全国道路・街路交通情勢調査
R8：R8.3.17交通量調査結果

志布志市街地北部断面交通量

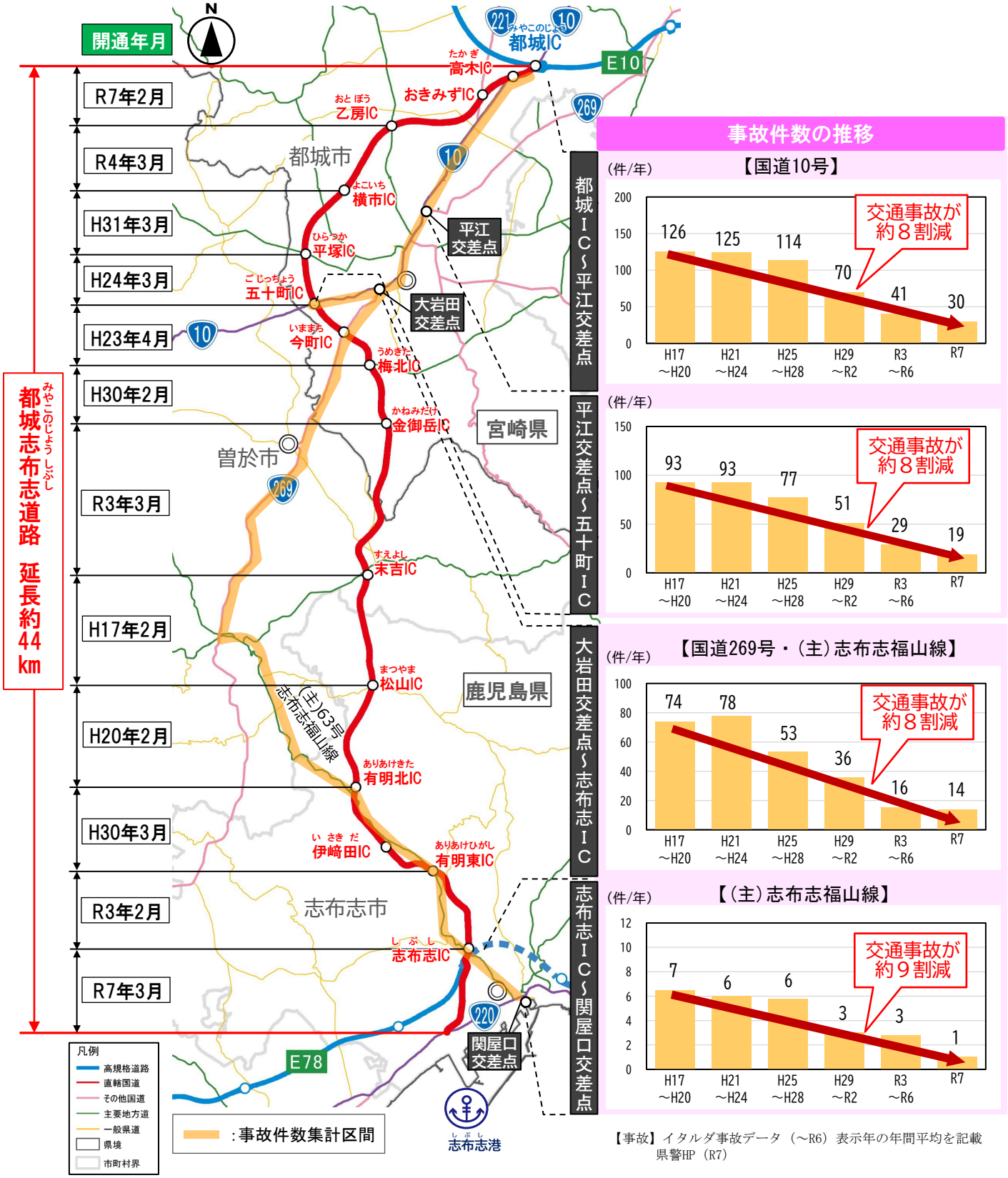


交通量調査結果
＜開通前＞ R3.10.26
＜開通後半年後＞ R7.9.3　＜開通後１年後＞ R8.3.17

交通状況　交通事故の変化

■都城志布志道路に並行する路線の交通量が減少し、事故件数は、都城市の国道10号では約8割、曽於市・志布志市の国道269号・(主)63号志布志福山線では約8～9割減少し安全性が向上。

交通事故の変化



事故件数の推移

【国道10号】

【国道269号・(主)志布志福山線】

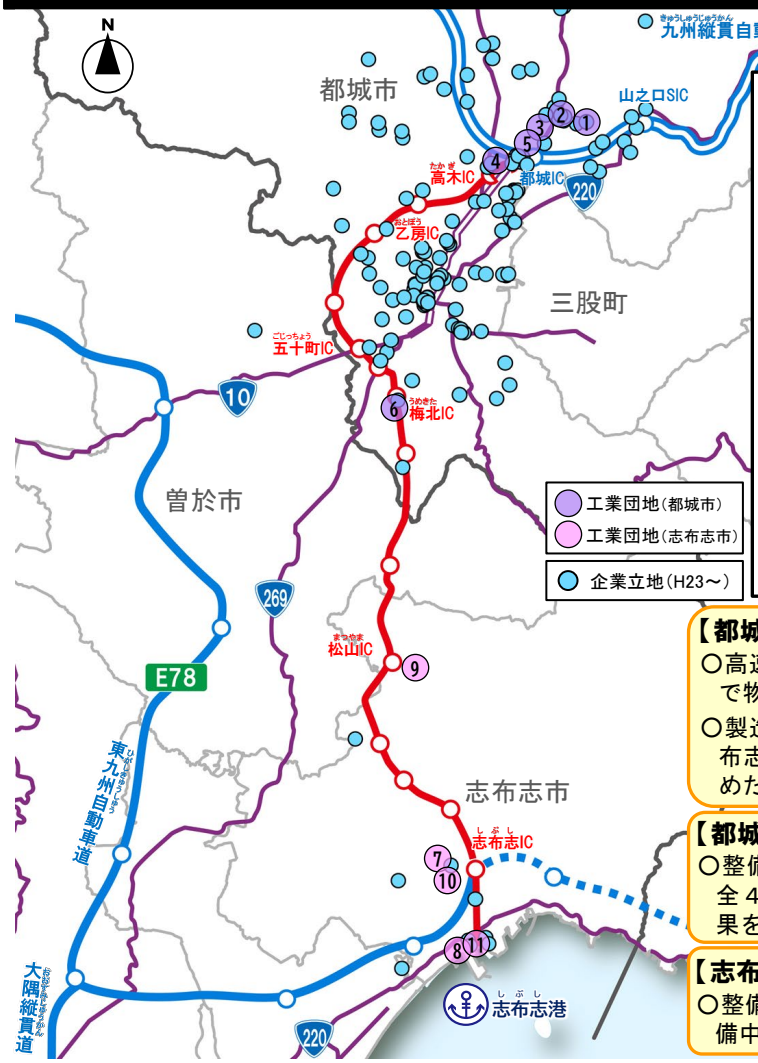
【(主)志布志福山線】

【事故】イタルダ事故データ（～R6）表示年の年間平均を記載
県警HP（R7）

雇用促進　交通拠点の結節により地域経済が発展

■都城志布志道路の開通に伴い都城ICと志布志港間のアクセス性が向上したことにより、整備済の工業団地は完売し、新たに工業団地を整備するなど企業立地が推進。部分開通(H23)から全線開通までに約5,600人の新規雇用を創出。
■都城志布志道路の整備と共に、製造品出荷額も約1．6倍に増加しており、地域経済の活性化に寄与。

企業立地・雇用促進により持続可能な生活圏を維持



▼H23年以降に完売・整備中の工業団地一覧

	都城市の工業団地	面積(ha)	状況
①	都城インター工業団地大井手地区	4.6	H26完売
②	都城インター工業団地穂満坊地区	13.1	H30完売
③	都城インター工業団地桜木地区	19.8	R4完売
④	高木工業団地	13.6	R5完売
⑤	都城インター工業団地高木北地区	19.1	整備中
⑥	梅北インター工業団地	3.1	整備中

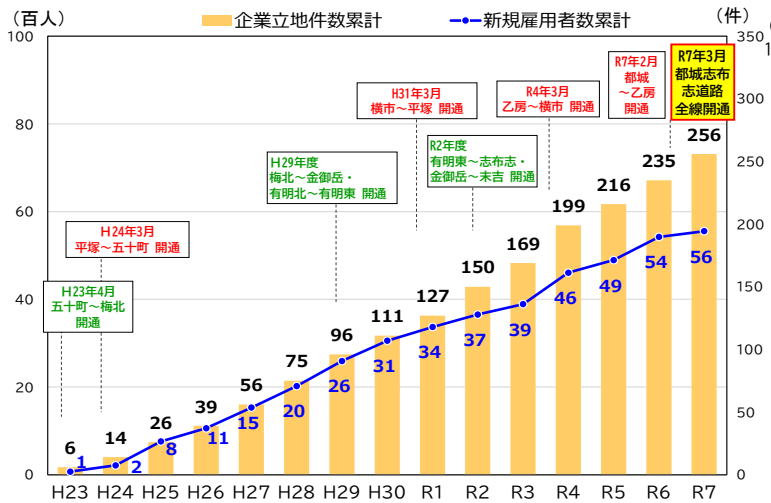
	志布志市の工業団地	面積(ha)	状況
⑦	安楽大迫工業団地	2.0	R3完売
⑧	志布志臨海工業団地1工区～5工区A･B	22.4	R6完売
⑨	志布志インター工業団地松山地区1	1.0	整備中
⑩	志布志インター工業団地安楽大迫地区	1.5	整備中
⑪	志布志インター工業団地志布志港入口	0.4	整備中

※⑥以外の整備中箇所は募集未実施　資料：都城市, 志布志市

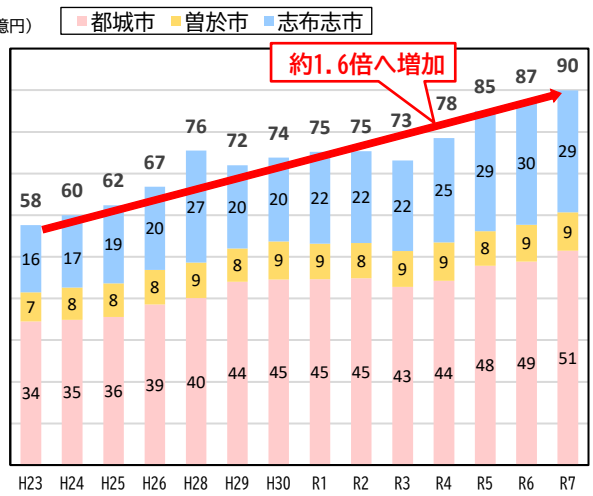
【都城市への進出企業の声】(R8年1月･2月、都城市資料)
○高速道路での陸上輸送、フェリーでの海上輸送など、様々な面で物流に優れている点が進出の大きな理由。（ブロイラー企業）
○製造拠点として最適な立地であり、全線開通予定だった都城志布志道路の沿線で原料の供給がほぼ完結することから進出をきめた。（食品製造販売業）

【都城市企業進出担当者の声】(R8年10月ヒアリング)
○整備中の「⑥梅北インター工業団地」は、完成前にも関わらず全４区画の進出企業が決定しており、「経済の道」としての効果を実感。

【志布志市企業進出担当者の声】(R8年6月ヒアリング)
○整備済みの安楽大迫工業団地は完売し、さらに3つの工業団地を整備中であり企業進出の需要が高まっている。



▲都城市・志布志市・曽於市の企業立地と新規雇用者数
資料：都城市, 志布志市、曽於市



▲都城市・曽於市・志布志市の製造品出荷額
資料：工業統計調査、経済センサス、経済構造実態調査

物流効率化　農林水産関連物流の効率化(畜産業関係)

■志布志港から都城市、曽於市などの畜産地域へのアクセスが向上し、輸送回数の増加など物流の効率化に伴い飼料出荷量が約1.6倍へ増加。設備投資に繋がるなど、志布志港の国際バルク戦略港湾としての機能強化に寄与。
■都城市、曽於市の肉用牛飼養頭数が増加し、産出額が約1．5倍へ増加するなど、地域産業の活性化に寄与。

飼料供給基地である志布志港関連物流の効率的な輸送

■ 志布志港の60分圏域の変化と畜産(牛)関連事業所の立地状況



※国際バルク戦略港湾とは、日本におけるばら積み貨物(バルク)の輸入拠点として、安定的かつ安価な輸入の実現に資する大型船に対応した港湾機能の整備等を実施する港湾として国土交通大臣が選定するもの

【飼料・食料品製造会社のコメント】
○全線開通により、志布志港への往復回数がトラック1台で1日3回から4回に増加した。
○信号が無いので円滑に走行できるため、燃費が向上し、輸送コストの削減に繋がっている。ガソリン代が高騰しているため、非常に助かっている。
(飼料・食料品製造会社ヒアリング：R8.5)



【畜産農家のコメント】
○飼料の確保量が増加したことで、飼養頭数の増加が可能となった。
(畜産農家ヒアリング：R8.5)



【配合飼料製造会社のコメント】
○南九州を含む九州・沖縄エリアで肉牛生産需要に対応すべく、飼料製造体制の強化と製品拡充のため工場の増設を行った。
(配合飼料製造会社ヒアリング：R8.6)

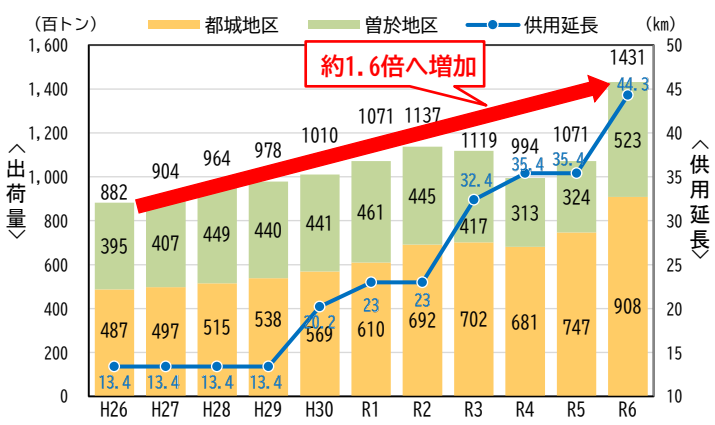


全国トップクラスの畜産地域
✔ 鹿児島県 全国和牛能力共進会 “和牛日本一” ２連覇！(H29, R4)
✔ 都城の肉用牛産出額 １１年連続全国１位！(H26～R6)

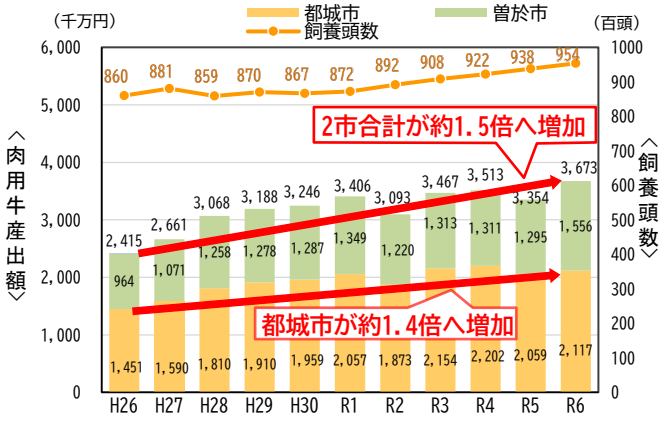




▲配合飼料の生産ライン等増設した工場



▲都城地区・曽於地区への牛用飼料出荷量、都城志布志道路供用延長の推移
資料：志布志市



▲都城市・曽於市の肉用牛産出額及び飼養頭数推移
資料：産出額は農林水産省、飼養頭数は都城市、曽於市

物流効率化　農林水産関連物流の効率化（木材産業関係）

■道路の開通により輸送時間が短縮され、木材の輸送回数が増加するなど、木材の搬出が効率化。
■都城志布志道路の開通前後で比較すると、志布志港における木材輸出量・輸出額が16年間で約70倍となり、木材産業に係る設備投資額も約90億円に上るなど、志布志港を中心とした志布志市・曽於市など周辺地域の発展に貢献。

志布志港を拠点とした広域物流の効率化



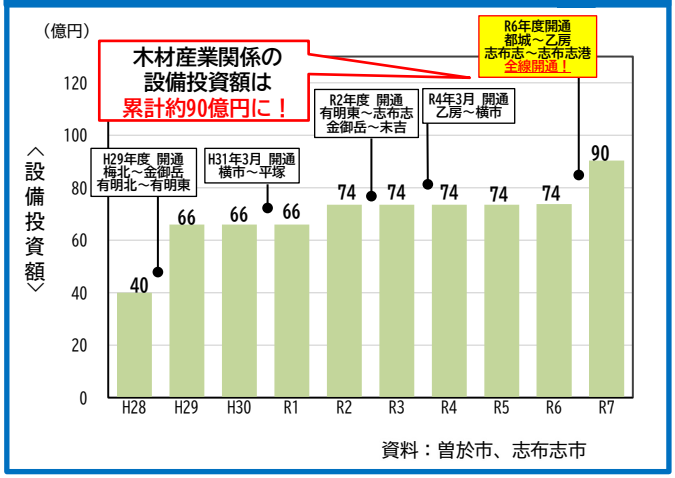
【木材製材会社のコメント】
○都城志布志道路の全線開通により、大隅地域からの原材料の輸送が増えている。また、関西方面への製品の出荷については宮崎港利用だったものが志布志港を利用するようになっている。
○多様化するニーズに応えるべく、有明北IC周辺に日本最大級となる志布志工場をH30に新設しており、今年新たに加工棟の増設に着工したところである。

（木材製品製造会社ヒアリング：R8. 10）

【木材運送会社のコメント】
○都城市内全域の市場や製材所から志布志港へ木材を輸送しているが、輸送時間が大幅に短縮され、便利になったと実感している。
○道路ができるまでは下道を利用し１日１往復程度であったが、開通後は２往復以上となり輸送効率化が図られた。

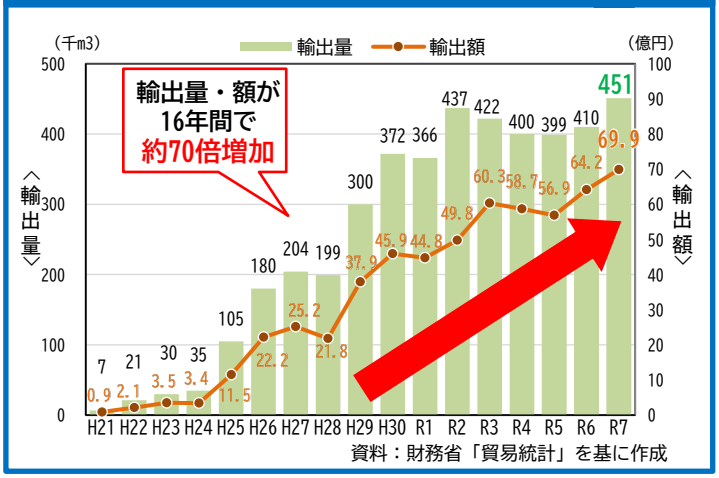
（木材運送会社ヒアリング：R8. 10）

木材産業にかかる設備投資額の推移（累計）



資料：曽於市、志布志市

志布志港の原木輸出量、輸出額の推移



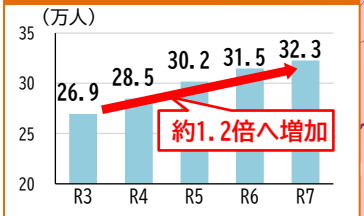
資料：財務省「貿易統計」を基に作成

観光振興　周遊性向上による観光の活性化

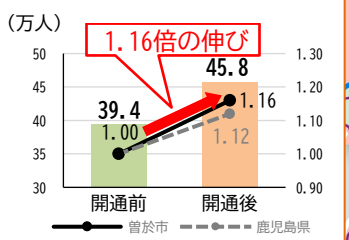
■熊本宮崎方面から志布志市、串間市への来訪割合が増加し、来訪者エリアが拡大。
■串間市への観光入込客数が1．4倍、志布志市・曽於市への観光入込客数は1.2倍へ増加し、道の駅「くしま」の来訪者数は約2．5倍、他施設利用も増加傾向。
■周遊時間の短縮に伴い、都城志布志道路を利用した大隅地域等へのバスツアーが新たに企画されるようになり、観光の活性化に寄与。

沿線地域の観光周遊性の向上

曽於市

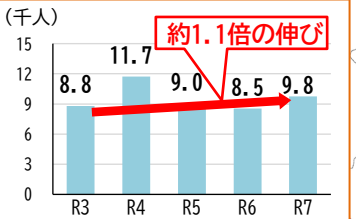


▲道の駅「すえよし」来訪者数

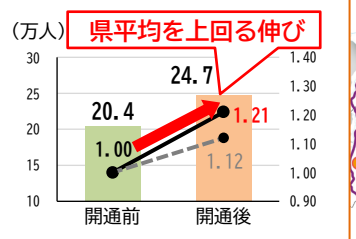


▲観光入込客数（曽於市）

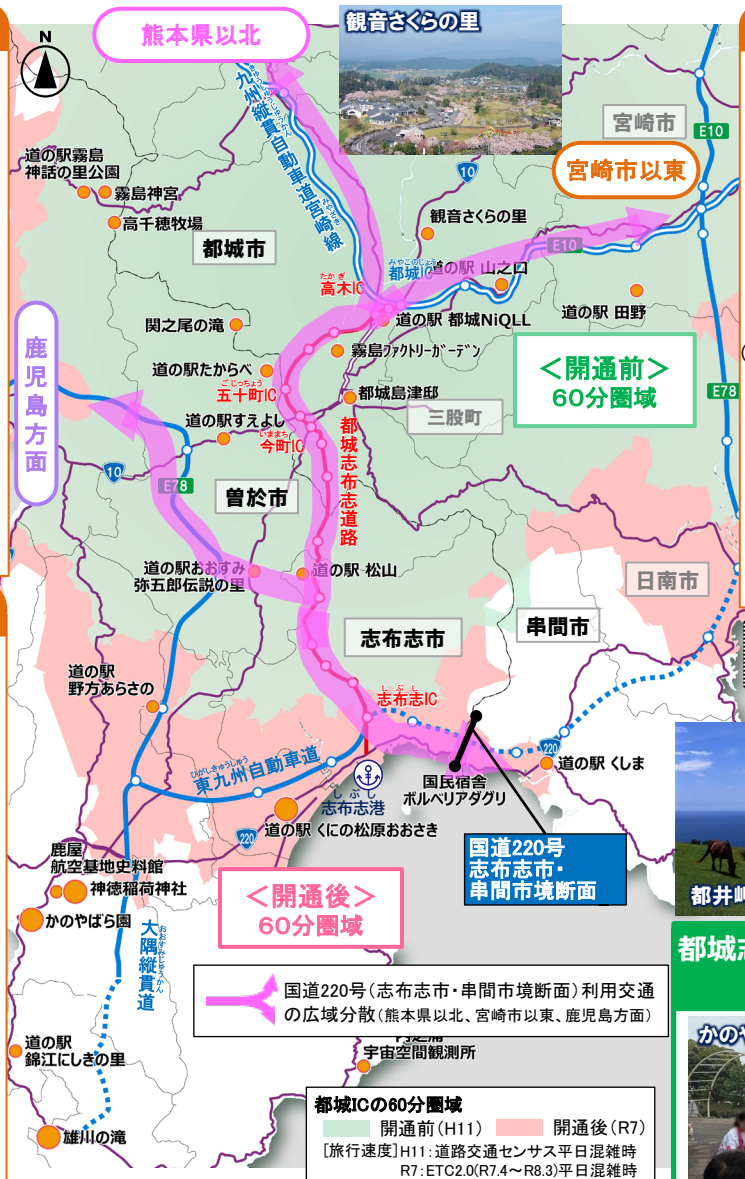
志布志市



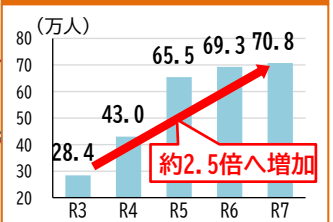
▲国民宿舎ボルベリアダグリ宿泊者数



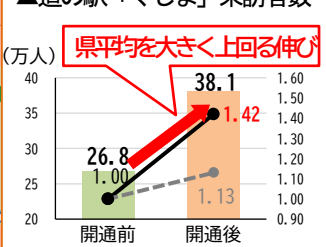
▲観光入込客数（志布志市）



串間市



▲道の駅「くしま」来訪者数



▲観光入込客数（串間市）

資料：観光入込み客数は「デジタル観光統計オープンデータ」の観光入込客数
開通前：R6年度、開通後：R7年度



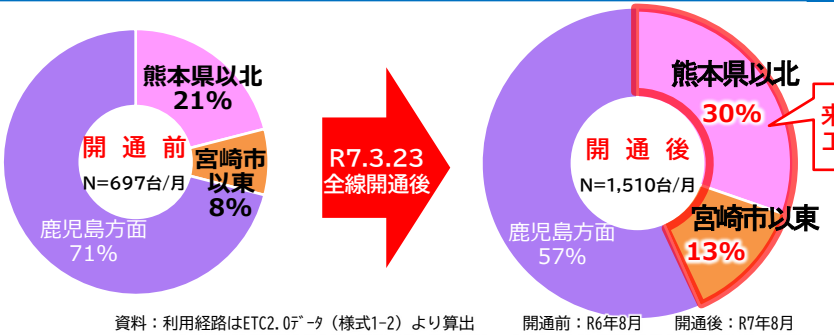
都城志布志道路 全線開通バスツアー



【鹿児島県大隅地域振興局】
全線開通し移動時間が短縮され、宮崎県と大隅地域が一層身近になった。今年度は秋にもバスツアーを２件程度予定している。

【バスツアー企画の旅行代理店】
全線開通により宮崎市から鹿屋、南大隅町まで観光施設を巡り日帰り可能な今までにないツアーを実施できました。応募者が多く、宮崎県北や県南からの応募もあり、大好評でした。

志布志市・串間市への広域来訪割合の変化（国道220号 志布志市・串間市境断面）

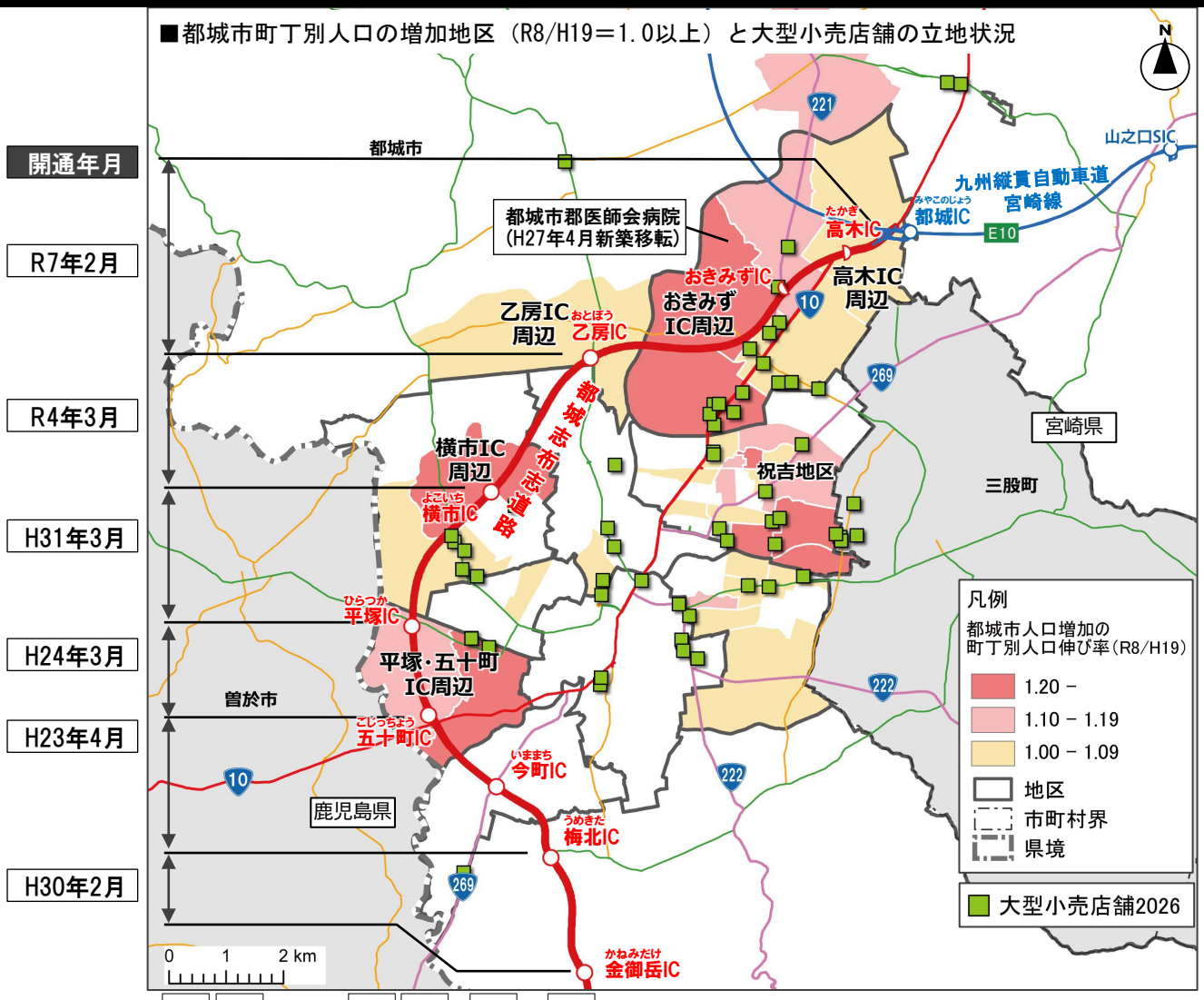


資料：利用経路はETC2.0ﾃﾞｰﾀ（様式1-2）より算出　　開通前：R6年8月　　開通後：R7年8月
熊本県以北(九州縦貫自動車道・国道221号の熊本県境）、宮崎市以東(九州縦貫自動車道・国道10号・国道269号宮崎市境）、
鹿児島方面(東九州自動車道・国道10号・県道志布志福山線の霧島市境)

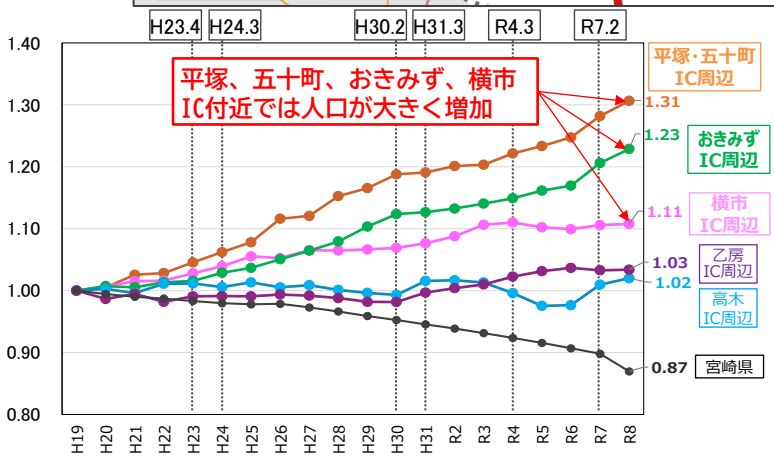
居住地域開発　利便性の向上に伴い新たな居住地域が開発

■宮崎県の人口推移は、減少傾向であるが、都城志布志道路のIC付近などでは人口が最大で1.3倍になり、新たな居住地域が開発。
■都城市での大型小売店舗の出店が倍増している。

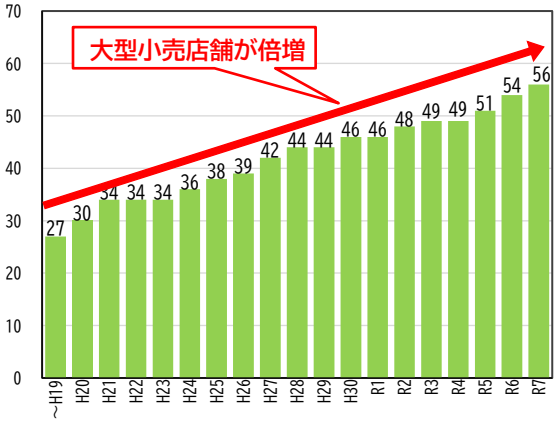
都城市の人口維持に貢献



資料：［人口］都城市住民基本台帳、大型小売店総覧2026



▲都城志布志道路IC周辺の人口の伸び率（国道10号以北）
（H19を1.0とした指数）



▲都城市の大型小売店舗数の推移

資料：［都城市人口］都城市住民基本台帳（1月1日時点）［宮崎県人口］総務省「住民基本台帳に基づく人口」（H19～H25年3月31日時点、H26～R7年1月1日時点）、宮崎県「推計人口」（R8）

資料：大型小売店総覧2026

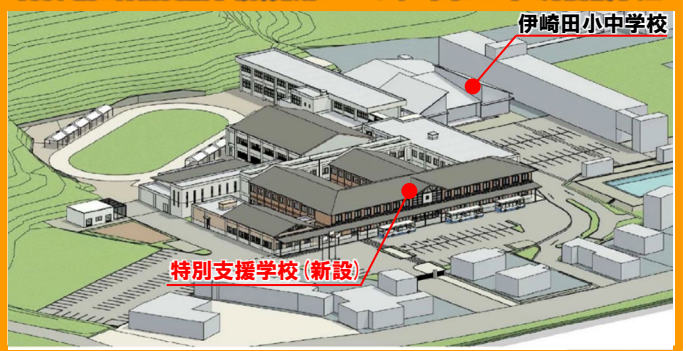
教育環境の充実　教育・人材育成拠点へのアクセス向上

■曽於市の南九州畜産獣医学拠点（SKLV）は、施設計画時より全線開通によるアクセス性の向上が期待され、開通後の実習参加者は増加傾向。
■道路の全線開通によりアクセス性が向上した志布志市伊崎田地区では、特別支援学校の整備が進められ、通学環境の改善や特別支援教育を推進する拠点としての機能充実が期待される。

教育・人材育成環境を支える交通ネットワークの充実



曽於地区特別支援学校（完成イメージ） 令和10年4月開校予定



教育支援体制の強化

○期待される特別支援教育のセンター的機能

- ✓ 教職員への専門的支援・研修
- ✓ 小・中学校等への巡回相談
- ✓ 教育・福祉・医療等との連携

→アクセス性の向上により、センター的機能の発揮を支える基盤として寄与。

【曽於地区特別支援学校整備担当者の声】

○立地選定の検討に当たっては、「位置・アクセス」の評価項目について、伊崎田ICへの近接性を重要視した。
○教職員や来校者の利便性向上に期待している。

【志布志市担当者の声】

○通学時間の短縮による児童生徒の負担軽減に期待している。
○隣接するこども園、小中一貫校、そして地域が一体となり、「インクルーシブ教育のまち伊崎田」の構築が期待される。
○アクセスしやすい立地を生かし、子育て世代の移住・定住につなげたい。

（ヒアリング：R8.7）



南九州畜産獣医学拠点（SKLV） 令和6年4月開講





【一般財団法人SKLVそおのコメント】

○大崎町や鹿屋市、宮崎県方面からの研修視察が増え、利用者からは、「アクセスしやすくなった」「参加しやすくなった」との意見があった。

○都城志布志道路や九州縦貫自動車道などのアクセス性の良さを活かし、南九州の畜産獣医学の拠点として交流人口を拡大させていきたい。

（ヒアリング：R8.7）



SKLV 学生実習の推移

